

内科外来診療

<はじめに>

当院の診療参加型外来研修は、毎週1回の時間内 ER 当番が主体。ただし、ER に運ばれる患者診療は医療者側に圧倒的な主導権があり、一般外来のような医師患者関係の対等性が無い。また ER 診療では患者の全体性に配慮できる反面、診療の継続性に欠ける。

上記 ER 研修を補完するために、この実務研修では2年次に一般外来での対等な医師患者関係下での参加型初診外来診療を体験する。また研修医が入院で担当した患者の追跡や初診外来後の再来診療研修もこの場で行う。

<一般目標>

3年次以降の外来診療のあり方を理解し外来診療を円滑に行うために、外来診療での対等な医師患者関係のもと、患者に安心をもたらす診療を心がけ、診療を協助するコメディカルに配慮しつつ、医療面接技法や身体診察技法を駆使し情報を収集し、情報の分析、全体像把握によって、更に必要な検査やコンサルト科を選定できる。また継続診療の意義を理解する。

<方略>

研修期間：第1・第3土曜日、午前10時から、再診は予約で午前9時から12時まで

(ブロックローテーションではありません)

対象：初診は毎回1名を希望者から調整、再診は30分毎予約枠に各1名(1日6名まで)

場所：初診は内科外来第3診察室、再診は内科外来第6診察室

指導者：初診外来担当の部長医師ないし総合内科医師

手順：初診窓口で患者に研修医診療の同意確認

別紙「教育病院について」を土曜日初診患者全員に手渡し、「初診の一部の方には、研修医診察にご協力をお願いするかもしれません。研修医診察は、優先診察で、部長などの指導者が最終判断します。ご協力をお願いできますか？」と窓口説明

→カルテ出庫票に研修医診察の諾・否を記載

研修医による適当患者の選定(難易度、関心等考慮)

呼び入れ、医療面接、身体診察でいったん中断し、必要検査を考える

ECG、単純X線は指導者と協議せずにオーダー可

指導者と追加情報の要否や必要検査の検討

(必要があれば指導者による診察後、検査開始)

指導者ととも検査結果確認と病状説明

振り返り

<評価>

追加情報の要否や必要検査の検討段階、振り返り段階にて、指導医は口頭でフィードバックを行う。研修医は当日の外来診療について感想を述べる。